

ジュニア 京都観光大使の GO GO 体験レポート 4/12 ハンナリーズアリーナ体験

参加大使

佐藤彬子さん(西京高等学校附属中学校2年),平居珠実さん(京都女子中学校2年),福岡はるさん(桂小学校6年),三縁信善さん(伏見中学校2年),室井愛純さん(京都産業大学附属中学校1年)

京都を拠点とし、2009年から日本プロバスケットボールリーグ「bjリーグ」に参入している京都ハンナリーズ。大使たちが訪れた4月12日は、勝てばチーム創設後初のレギュラーシーズン西地区2位が確定する大事な試合とあって、試合前から会場は盛り上がりを見せていました。



その試合会場となったハンナリーズアリーナ(京都市体育館)は、3月に改修工事が完了したばかり。観客席が個室化されたり、照明が明るくなったりと、スポーツをする人も見る人も楽しめる施設に生まれ変わりました。



初めに大使たちは、ハンナリーズ広報担当の武田さんの案内で、アリーナ内部を見学しました。コートサイドやゴール裏には、より臨場感が味わえるようにと、ハンナリーズ専用の席が設置されました。席に座り、すぐ目の前で選手がプレーする姿を想像した大使たちは、思わず「すごい迫力!」と話していました。

次に、入場口でマスコットの「はんニャリン」と一緒にお客様をお迎えし、パンフレット配布のお手伝いをしました。小さなお子様からお年寄りの方まで幅広い年齢層の方々



が来場され、ハンナリーズへの期待の高さを改めて感じた大使たちでした。

シュート練習でゴール下に集まったボールを選手へ返す「リバウンダー」のお手伝いもしました。間近で練習する選手のプレーに最初は圧倒されていましたが、少しでも力になりたいとサポートする大使の姿がありました。「次々にボールが飛んできて、それがほとんどゴールに入っていたから驚いた」と嬉しそうに話してくれました。



試合直前には門川大作京都市長と一緒にコート上に登場し、ハンナリーズアリーナのリニューアルオープン記念の試合に花を添えました。

試合は一時10点差を付けられながらも、最後は大逆転で勝利を収め、地区2位が確定しました!息詰まる熱戦に、プロバスケットボール初観戦の大使たちも興奮を隠せず、最後まで大きな声で応援していました。ぜひ、皆さんも一度会場に足を運び、音響や照明の演出の中で、テレビでは伝わらない生観戦の迫力を味わってください!そして、京都のまち全体でハンナリーズを盛り上げていきましょう!

京都ハンナリーズを運営する スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社

た た ら た か ふ み
多田羅 隆文
代表取締役社長への
インタビュー

大使 たくさんの人が応援に来られていますね。

社長 地域の皆さんの応援は、チームの大きな力になっています。私たちも地域に愛され、子どもたちに夢や感動を届けたいと思っています。

大使 お客様を増やすためにされていることは何ですか?

社長 例えば飲食ブースの充実、チアダンスや子どものフリースロー挑戦など、試合以外でも皆さんが楽しめるような空間づくりです。

大使 チーム創設後の5年間で困ったことはありますか?

社長 いつも困っています(笑) どうすれば常勝チームが作れるか、どうすれば京都中から皆さんが見に来てくれるかと考えています。

大使たちは、インタビューを通じてハンナリーズの熱い想いを感じることができました。



HANNARYZ KYOTO

○チーム名の由来

京ことば「はんなり」から命名。「はんなり」とは「上品で明るく華やかなさま」を表しており、この京ことばをチーム名に表現することで文化の継承に役立ちたい、という思いが込められています。

○2013-2014年シーズン成績

過去最高のレギュラーシーズン西地区2位、ファイナルズ進出(3年連続3回目)

次のシーズンは10月から始まります。試合日程はGoGo土曜塾や下記ホームページなどでチェックしてくださいね!

公式HP <http://hannaryz.jp/index.aspx>